

## 【介護から自分を知る⑳】

東海社会福祉科学研究所  
大北 秀雄

### (2) 現状認識

高齢者の置かれている状況を知ることから初めて見ると、その問題点が見えてくると思います。孤独死、詐欺、虐待、介護疲れによる自殺、うつ病などのニュースが多くありますが、その原因についてある程度は調査されているようですが、その根本原因やその経緯が明確にはされていないところがあります。それは放送できない部分があるものと予測されますので、そのことを考えて見ることも必要ですが、解説者や取材者が本当に介護・福祉を理解しているのか疑問が残る場合も見受けられます。

自分の置かれている状況がこれからも継続することが可能なのか、それとも大きく変化するのかなどを考えて見ることも大切です。今日、明日、3年以内の将来、それ以降など考え方にはいろいろありますが、生きていくことに不安を感じないことが一番だと思います。

自分で何事も判断でき、適切な行動がとれ、人に迷惑をかけることの少ない人生ができれば最高ですが、それをできることの保障が確約されていないのも現実です。人との関係なしで生活ができませんし、お金がいない生活をすることもできません。

何時襲ってくるかもしれない何問題に対しての心構えを、どう持つかにかかってきますので、日頃から現状の把握、将来の予測を真剣に考えることが大切です。現実には、人の力を借りずに一人で全てのことを行なうことは無理ですし、悩みを持って生活することも当たり前になっていますし、病気から逃げられないのも事実です。

多くの情報が氾濫していますので、必要なものだけを保存し、余分な情報で悩まないことが大切です。その悩む時間があれば必要な情報を手に入れることに力を入れてください。必要な情報はパソコンからほとんど手に入れることができますし、理解することが難しいと思えば専門家等を活用すれば良いです。また、書籍等により確認することでこころが落ち着くこともあります。

なお、制度等は時間が経つと改正されていることもありますので注意してください。

多くの問題に対して、個々で具体的に問題点と課題を出し、そのことに対する解決方法を検討していくことで、概ねの現状、将来の生活が見えてくると思います。ただし、希望的観測や問題点の状況をはっきりさせない場合は、その解決方法が間違った方向に進む場合が多いので気をつけてください。

現在の状況は、社会の現状を知っていること、制度の内容を知っていること

が基本になっていますから注意が必要です。そのためにも日頃から将来につながることに関心を持った生活をするのが求められていますので、自然と頭に残るようにすることも大切なことです。自己責任の時代であり、社会で最後まで見てもらえる程の福祉国家ではないですし、そこまで税金等を納めていないことも現実ですし、国・地方とも借金で行政を行なっていることも事実です。金銭的に問題のない生活ができる人たちの減少も現実ですし、自然環境が悪くなっていることも現実です。高齢者が住みやすい環境になるように配慮されていることはありませんし、高齢者と同居してくれる子どもたちが少ないのも現実です。

何事に対しても客観的に考え、生活に対する甘い考え方を持たないことが現実を生きていくためには必要な時代ですし、そのことに対して早く理解することが求められています。

現実から逃げることなく、その中において好きなことを追い求めつつ、地に足のついた生活をするのが大切です。